

## レジリアンス・プロジェクト平成 21 年度研究計画 (Research Plan for FY2009)

1. 氏名/所属: 真常 仁志・安藤 薫 (京都大学大学院農学研究科)
2. 具体的な研究課題 (今年度)
  - 1) 新開畑において耕作年数が土壌特性値に与える影響
  - 2) メイズ収量の規定要因の解析
  - 3) 火入れがメイズ収量に及ぼす影響の推移
3. 具体的な研究内容 (今年度)

ザンビア東部州ペタウケに設営した試験圃場において

  - 1) 耕作年数・耕作開始年が異なる土壌について特に有機物に着目した分析を行い、開畑に伴う土壌特性値の推移を明らかにする
  - 2) それら土壌特性値および気象条件とメイズ収量の関係を明らかにする
  - 3) メイズ収量マップを作成し、火入れによるメイズ増収の影響が及んだ範囲を特定する
4. 今年度末までの達成予定 (上記の課題毎に、何をどの程度明らかにできるか)
  - 1) 耕作年数・耕作開始年のような履歴や火入れ・施肥といった管理形態の違いが土壌に与える影響が明らかになる
  - 2) 過去 2 年間のメイズ収量規定要因が土壌・気象条件の面から明らかなる
  - 3) 過去 2 年間のメイズ生産に与えた火入れの影響が明らかになる
5. 今年度現地調査予定
  - 1) 時期 4 月、8 月、10 月、12 月、2 月
  - 2) 目的 メイズ栽培試験の管理運営
  - 3) 内容/準備状況  
メイズ栽培試験に必要な開畑、火入れ、播種、成育調査、収量調査を実施する。合わせて土壌試料の採取もおこなう。
6. 次年度以降の計画予定概要  
(平成 22 年度)
  - 1) メイズ栽培試験の継続
  - 2) 土壌試料の採取  
(平成 23 年度)
  - 1) メイズ栽培試験の完了
  - 2) 4 年間の栽培試験の結果をとりまとめ、メイズ収量の変動に与える環境条件、土地利用履歴の影響を明らかにする。
7. 成果発表計画  
発表予定学術誌 (学術誌名) *Geoderma*  
発表予定学会 (学会名・時期) 土壌肥料学会関西支部 (12 月ごろ)、熱帯農業学会 (3 月)  
ワークショップ等 ルサカWS
8. その他 (何かあれば)